

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月26日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	保健福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
平成19年度部名	福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
事務事業名	緊急通報システム運営事業				
予算上の事務事業名	緊急通報システム運営事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11210		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	該当なし				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第1施策 地域ケアサービスの充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市相模湖地域緊急通報システム事業運営要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成8年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
	相模湖町地域自治区内に居住するひとり暮らし高齢者等の居宅に緊急通報システムを設置することにより、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。			(2) 対象(誰、何)	
				独居高齢者 高齢者世帯	
	(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
	24時間対応可能である、安全センター(株)へ事業委託。サービスの利用決定は相模湖福祉課。 ・利用者数 40名 ・決算見込額 1,806,525円				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	旧4町では、安全センター(株)へ委託し同様の事業を行っていた。旧市にも総合相談課が実施している緊急通報サービスがあるため、20年度に旧相模原の制度へ統合予定。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	1,807	2,170	0
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	805	805	0
事業コスト合計	0	0	2,612	2,975	0
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率	事業名(主たる事業名) 相模原市相模湖地域緊急通報システム事業				
	対象名称と単位			サービス提供(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	1,807	2,170	0
対象数	0	0	40	40	0
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	45,175	54,250	#DIV/0!
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.20	#DIV/0!

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	延べサービス実利用者件数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延べ実利用者件数/前年度延べ実利用者件数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	128.8		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	128.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	延べサービス実利用者件数の対前年比	指標式と指標の説明	本年度延べ実利用者件数/前年度延べ実利用者件数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	128.8		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	128.8		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		緊急通報システムは、一人暮らし高齢者には必要である。今後、旧相模原市のサービス体系に統一する意味で見直しという評価をした。（平成20年度統合予定）	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
市全体の体系に統一されることで、より効果は期待できる。			現行制度から旧相模原市の制度へ切り替え時に利用者に対して説明・周知し、スムーズな移行を行う。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市全体を対象とした事業と統合する方向で、効果的な見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			